



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 防蟲科學 1939, 3

ISSUE DATE:

1939-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/156454>

RIGHT:

# 防 蟲 科 學

第 三 號

羊 毛 の 防 蟲

共 三

財 團 法 人 防 蟲 科 學 研 究 所

京 都 帝 國 大 學 內

昭 和 十 四 年 十 一 月

故 理事長濱田耕作博士は、昭和十二年六月三十日  
京都帝國大學總長就任と共に、防蟲科學研究所理事長  
として、研究所のために御盡し下さった功績は極めて  
大きい。今後更に先生の御力に待つ處が多い時に當つ  
て、昭和十三年七月二十五日忽然逝去せられたことは、  
全く痛惜に堪へない。茲に謹みて哀悼の意を表する次  
第である。

## 目 次

### 論 說

〔ヒメカツラブシムシ〕に就きて 京都帝國大學農學部昆蟲學研究室 財團法人防蟲科學研究所研究囑託 山田 保治… 1

〔ロテノン〕を主成分とせる一防蝕劑の効果 農 學 士 高主 武三…11

羊毛害蟲之蝕害と溫度との關係 京都帝國大學農學部昆蟲學研究室 財團法人防蟲科學研究所研究囑託 山田 保治…19

〔ヒメマルカツラブシムシ〕成蟲の集來する花に就きて 同 山田 保治…27

### 資 料

〔ス・フ〕の蟲蝕ひ 京都帝國大學農學部昆蟲學研究室 財團法人防蟲科學研究所研究囑託 山田 保治…32

### 雜 錄

故濱田先生之思出 京都帝國大學農學部昆蟲學研究室 財團法人防蟲科學研究所研究囑託 山田 保治…33

### 編 輯 後 記

財團法人防蟲科學研究所總則及役員

君に電話をかけよふと思つて居た處だ、實はあの畫が出来たのでねと言はれながら美事な御作品を賜はつた。丁度其時、太田喜二郎畫伯が先生の室へ入つて來られた、すると先生は、君が先日山田君の「タムシ」の畫を見て感心して居たね、之が其山田君だよと、御紹介を受けた、僕は山田君に畫をかゝれたのだが、君は山田君の畫に感心して居たのだから、丁度よい時だ、感心料を拂はないかと申された、すると畫伯は即座に、よし拂はしてもらふと仰せられて萬里之長城の下を、先生と畫伯が支那馬に跨がつて、旅行せられた時のを畫いて戴いた。

先生へ御報告申上げた記載と畫は先生の論文玉蟲翅飾考「慶州金冠塚の遺物と玉蟲厨子」(白鳥博士還曆記念東洋史論叢)大正十四年。の中に收録されて居る。其後暫らくしてから、先生が、君、あの問題は僕には面白いと思ふから、正倉院御物の中にも拜されることだし、法隆寺玉蟲厨子のも此際一緒にして、今少し調べて物にしてはどふかと思ふ、僕で出来ることは何でも便宜を取り計らふからとの、誠に有難い御親切な御言葉であつた、小著「古代美術工藝品に應用せられし「タムシ」に関する研究」昭和七年は、全く先生の御蔭で出来たのである。

時經て、先生は總長に就任せらるゝと同時に防蟲科學研究所理事長として、私達の仕事を統帥して戴くよふになつた時、私は心密かに、先生には餘程御縁があるのだなと、一人で喜びと感謝で一杯であつた。其先生が忽然逝去せられた、全く感懷無量である。人格高傑なる先生が、學界に残された功績は極めて大きい、其偉大な業績は永遠に世界の學界を照すことであらふ。先生は特別に御世辭は言はれない方だし、従つて、御言葉の數も少ない方であつたが、先生の御言葉は何つも心の底から湧出て居た。先生から戴いた朝鮮の畫と、因縁深い太田畫伯の畫は、共に私の家の家寶として永久に保存して居る。

「終り」。

## 編 輯 後 記

防蟲科學研究所の仕事も順調に進み、創立以來足掛三年「滿二年半」を迎へることが出来た。二代理事長濱田耕作博士逝去のため、現總長羽田亨博士が理事長に就任せられ、中村書記官は退官と共に防蟲科學研究所監事をも退職せらるゝことになつたので。其後任者鐘江富次書記官は研究所監事に就任せらるゝことゝなつた。雑誌第三號の出版が豫定より後れたことは讀者に對し誠に申譯がない。最近、「ス・フ」の蝨蝕ひ、が方々で相當問題になつて居る。國策的見地から、「ス・フ」の使用を獎勵せられて居る今日、質が弱い上に蝨の被害がひどくては、全く困つた問題である。「ス・フ」の蝨蝕ひ、を如何にして防除するかは、即今吾人に課せられた大きな研究題目の一つであると思ふ。(山田記)。